

令和 2 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	25-1	学校名	県立水戸桜ノ牧 高等学校常北校				課程	全日制		学校長名	益子 雄行					
教頭名	小 坏 正代								事務(室)長名	遅塚 朱美						
教職員数	教諭	11	養護教諭	1	常勤講師	0	非常勤講師	2	実習教諭, 実習講師, 実習助手	0	事務職員	2	技術職員等	2	計	21
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計	クラス数			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	20	5	26	11	20	10			66	26	92	3			

2 目指す学校像

県立水戸桜ノ牧高等学校常北校として、校訓の「至誠、勤勉、協和」の精神を徹底させ、心身ともに調和のとれた人間形成を図るとともに、地域社会に貢献できる学校づくりを目指す。

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現 状 分 析	課 題
学習指導	一人一人が輝く活躍の実績をあげ、学力の向上を図る。授業の理解を深め、学習意欲を喚起する。	教員の授業力の向上を図りながら、基礎学力の定着を促し、学習意欲を喚起する必要がある。
進路指導	令和元年度の進路状況(卒業生31名)は、進学11名、就職20名である。よりよい進路選択をするための情報収集し、実現に向けて計画的に進める能力の育成が重要である。	各種講演会やインターンシップ、キャリア・パスポートの全員実施等を通して、低学年からキャリア教育を推進し、進路意識を高める必要がある。
生徒指導	落ち着いた生活態度や規範意識の醸成を図る。生徒が大半で見られる。一部の生徒が、挨拶の場面に活発に発言し、積極的な態度を示している。	授業開始時に頭髪・服装指導を行い、好ましい学習環境づくりを行うとともに、自立的に生活習慣の育成を図る必要がある。
特別活動	英会話・宿泊研修・修学旅行・生徒会活動など、積極的に参加し、協力を得て、生徒の自主性を育てる。	1年生を含む部活動を全教員で指導し、放課後の活動を充実させるとともに、生徒の協調性や積極性を育てるホームルーム活動を行う必要がある。
働き方改革の取組	教職員がそれぞれの業務を積極的にこなしている。分枝業務が少ないため、教職員の数が少なく、一人当たりの業務量が多い。	業務量とともに兼務が多く、教職員が助け合いながら仕事をこなす一方で、長時間勤務となっている。

4 中期的目標

1	学校行事を精選し、授業時間を確保し、保育を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
2	授業の特別活動等を通じ、授業の進捗を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
3	挨拶の励行を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
4	部活動への参加を促す。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
5	国際理解の教育を推進する。	1時間、1時間の授業の充実を図る。
6	教職員の業務の見直しを行う。	1時間、1時間の授業の充実を図る。

5 本年度の重点目標

重点項目		重点目標
1	学力の向上と定着	① 創意工夫を凝らし、教材研究や教員相互の積極的な授業研修等を通じて、より ② シラバス・授業計画の作成や授業の振り返りなど、学習意欲の喚起を図り、計画的・継続的な学習をさせる。 ③ 少人数授業や個別指導など、基礎学力を向上させ、定着させる。
2	基本的な生活習慣の確立	④ 登下校時の挨拶や校舎内での挨拶を徹底させる。 ⑤ 髪型・服装や授業の開始・終了時の挨拶を徹底させる。 ⑥ 3年間の振り返りや進路意識の醸成など、計画的なキャリア教育を実践する。
3	希望する進路の実現	⑦ キャンパス・等々力向上を目指す。 ⑧ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒の積極性を引き出す。 ⑨ 学校行事や生徒会活動、ホームルーム活動を通して、生徒自らの変容や成長に気付くことが ⑩ まだきるよの積極的な参加を促して、望ましい人間関係をつくり、充実し ⑪ た自他の生命を尊重し、他人を思いやる心を育て、豊かな人間性を培う。
4	特別活動及び部活動の活性化と豊かな人間性の涵養	⑫ 地域から信頼される学校づくりの推進 ⑬ 地域に寄り添った教育活動の展開 ⑭ 学校公開を計画的に実施して、本校に対する地域の理解促進を図る。 ⑮ 平成25年度からの分校化に伴い、分校としての特長を活かしながら地域との連携を図る。
5	地域から信頼される学校づくりの推進	⑯ 教職員の業務の見直し及び ⑰ 教職員の業務の見直し及び ⑱ 教職員の業務の見直し及び
6	教職員の業務の見直し及び意識改革	⑲ 教職員の業務の見直し及び意識改革